

# 21世紀は、市民の時代



長井市は、長年にわたって地域の願望である「長井ダム」の本体のコンクリート打設が始まり、完成に向けて動き出しました。地域住民のダムに寄せる思いが実を結びつつある喜ばしいことです。一方、子や孫の代に悔いを残さないためにも、地域がもっと大きくなって、住民サービスを図るための「広域合併」に歩みを刻もうとしています。地方分権から地域分権へと、私たちの地域は私たちが主役となって作り上げていく「まちづくり」を目指します。

## がもう光男をよるしく

変わらぬご支援をよろしく

後援会会長 井上善一



力強いご支援をよろしく

後援会幹事長 青木邦彰



後援会女性部 部長  
永野明子



後援会青年部 部長  
小浦裕司



元気でファイトあふれる地域をつくります。  
21世紀は、信念とパワーとアイデアで。

### がもう光男が目指す基本政策

#### ●教育都市長井を実現します

地域の貴重な素材を活かし、身障者の心の痛みを教える教育や、ボランティア活動の推奨により地域にのこる生きた教育を目指します。

#### ●産業都市長井を実現します

直播き栽培やラジコンヘリを使った低コスト稲作をさらに推進します。長井市固有技術である情報技術産業(IT)の更なる進展に力を注ぎ、雇用の創出と確保に努力します。日本ケミコンとの友好関係や青梅市との交流を深め、次世代マイスター事業など人材育成に力を注ぎます。

#### ●福祉都市長井(スポーツ長井)を実現します

障害者にやさしいまち、病気予防のためにスポーツや趣味を推奨して、元気な明るい長井を目指します。

平成7年スーパーチャレンジ農業確立支援事業で導入。水和剤で延べ1,100ヘクタールの全国一規模の防除を30%低コストで実現。



北向地区のむらづくり行事で子供たちと毎年体験田植えをしている。



山形県初のフルマラソン大会も13回になり、全国一の青梅マラソン大会との姉妹大会を目標に、地域活性化のための市民・産業交流をめざす。トライアスロン大会は東北で初めて、バイオニア大会として知られる。

